

アムステルダム大学への留学を終えて

物理学専攻 博士課程1年 春日知明

2019年11月19日から2020年1月30日までの約2ヶ月半にわたり、私はアムステルダム大学のJacco Vink氏の研究グループに滞在して研究を行った。Vink氏は超新星残骸からのX線観測において世界的に有名な研究者であり、私は彼と共にXMM Newton衛星のRGS検出器が解析したKepler超新星残骸の観測データ解析を行った。興味深い兆候が見られたため、今後も引き続きこのテーマでの研究を続けていきたい。

アムステルダム大学には教員一人を除いては(おそらく学生も含めて)日本人がいないため、日本人の留学生は非常に珍しがられた。また研究環境の文化の違いを感じさせられた。通学路はアムステルダムの郊外を通るため、普段は静かで平和な街を楽しむことができた。一方で休日は中心部に観光に出かけたほか、大晦日の花火も見学することができ、活気溢れる一面も見ることができた。

最後に、渡航を支援してくださったオリアナ様を始めとするGRASP2019プログラム関係者の皆様と馬場研究室の皆様に、感謝し申し上げたい。



Ludwig van Beethoven

Negende symfonie in d kl.t., op.125 voor orkest, solisten en koor naar Schillers Ode 'An die Freude'

@ Het Concertgebouw Amsterdam